

## 東京大学史料編纂所 学術支援職員の募集

概要：2017～21（予定）年度科学研究費補助金事業・基盤研究（S）「天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と日本目録学の進展―知の体系の構造伝来の解明」（研究代表者 東京大学史料編纂所教授 田島 公【研究課題番号：17H06117】 配分予定総額 204,100,000 円[間接経費も含む]）の研究遂行に伴う、

- A **研究業務の高度な支援**（例えば、①平安時代の儀式書・日記・古文書等を写本から翻刻・入力・校正を行うこと、②科研報告書の編集や日本史の論文入力、③史料保存機関・博物館等に随行しての書誌調査など、学術研究の高度な補助（研究サポート）、④東京大学史料編纂所の情報端末 Hi-CAT Plus 改良版で Web 公開予定の禁裏・公家文庫収蔵史料のデジタル画像への内容目録[メタデータ]の付与、⑤竹内理三他編『日本古代人名辞典』1～7[吉川弘文館 1958～77 年]の増補改訂版の原稿作成・校正、⑥禁裏・公家文庫の目録入力、など）、
- B **科研事務局の庶務**（例えば、①科学研究費の会計処理、出張内申・出張報告の作成などプロジェクト運営の事務一般、②科学研究費の HP の更新、③科学研究費主催の研究集会、研究者・市民向け公開講座[禁裏・公家文化講座]・[陽明文庫講座]・[岩瀬文庫講座]・[金鶏会館講座] 他）の準備や共催・後援諸団体との交渉・連絡やポスター・チラシ作成交渉、公開講座の運営のサポート[当日の会場受付・アナウンス・会議録の作成]、事後処理[終了後の各種報告書・謝金等の書類の作成・講演録の作成]、④研究代表者が管理する研究プロジェクト室の運営のサポート、⑤日本学術振興会[JSPS]との連絡[例えば、報告書の作成、研究成果の英訳、外国人研究協力者との連絡、など）、

を共に行える、**学術支援職員 1 名**を募集致します。

機関・部署名：東京大学・史料編纂所

所在地：〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

職種：学術支援職員（年俸制）

勤務形態：週 5 日勤務、1 日 7 時間 45 分 を基本とする。

待遇：年俸制（国立大学法人東京大学特定有期雇用教職員の就業に関する規程の定めるところによる。）

給与 経験・資格により学内規則により算定。

社会保険 年金あり・健康保険あり・雇用保険あり。

交通費 支給要件を満たした場合、実費相当額を支給。

休日 土・日・祝・祭日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

応募資格：次の各要件を全て満たす者（必須条件）。

- （1）大学院修士課程以上の学歴を有し、日本史学、特に平安時代史を専攻し、史書・日記（古記録）・儀式書・年中行事書・古文書等の漢文・変体漢文の読解に堪能な者。
- （2）人文学系の大型科学研究費（**基盤研究（S）**・**学術創成研究費**など、1 年間の直接経費総額 3 千万円以上の研究プロジェクト）に、週 3 日 21 時間以上の条件で 1 年間以上の勤務経験があり、その間、大学や研究所等の財務会計及び旅費管理システムなどの操作経験があり、事務処理に馴れている者。
- （3）コンピュータの操作に堪能で、Word・一太郎・Excel・PowerPoint などを十分に使いこなせる者。
- （4）東京大学史料編纂所の情報端末 Hi-CAT Plus を利用し研究を行ったことがあり利用方法を熟知している者。
- （5）上記（2）の条件を満たす人文系の大型科学研究費が主催する市民向け公開講座の企画・運営に関して、研究代表者（リーダー）・研究分担者と共に、積極的に関わった経験がある者。

採用予定期間：2018 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日（単年度契約で、上記基盤研究（S）の進捗状況調査の結果、評価が定まる 2020 年度まで）

**応募期間：**2018年1月26日（金）～2月9日（金） 午後5時まで（必着）。

**応募方法：**以下の書類を、書類送付先にお送りいただくか、ご持参ください。

**提出書類：**

(1) 履歴書(写真貼付)。下記にある書式で提出下さい。

東京大学統一履歴書フォーマット [http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/per01/r01_j.html)

(2) 大学の卒業証明書及び大学院修士課程の修了証明書。

(3) 修士論文の要旨（2000字程度。査読の教員名を全て記すこと）。論文として学術雑誌に発表した場合は、その抜刷またはコピー。

(4) 会計・旅費担当をしたことのある直接経費年間総額3千万円以上の大型科研費等プロジェクト名と期間・研究代表者(リーダー)等の氏名・連絡先(所属先と住所、電話番号・メールアドレス)を記したもの(書式は任意)。推薦書は不要。

(5) 禁裏・公家文庫研究の進展に人文系大型科学研究費が果たす役割に関して、デジタル画像のWeb公開や自らが関わった市民向け公開講座の実践に基づく意見を期したもの(2,000字程度。様式は任意)。

**書類送付先：**封筒に「学術支援職員応募書類在中」と朱書の上、下記に、提出期限までに簡易書留等、配達記録が残るもので送付してください(ご持参の方も封筒に朱書と同様に記してご提出下さい)。

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学史料編纂所総務チーム

**選考方法：**応募書類により選考し、適任者に関しては、面接を行います(日本古代史の史料に関する試験を行う場合もある)。なお、面接に伴う交通費等は支給致しません。

**問い合わせ先：**東京大学史料編纂所・古文書古記録部門・教授 田島 公 (03-5841-5959)

Eメールの場合は、tajimaの後に、@hi.u-tokyou.ac.jpをつけて下さい。

**備考：**応募書類は返却致しません。

なお、2017～21(予定)年度科学研究費補助金事業・基盤研究(S)「天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と日本目録学の進展一知の体系の構造伝来の解明」(直接経費総額157,000千円[予定])は、下記の4回17年間の大型・超大型科学研究費補助金事業を継承する、人文学系屈指の大型研究プロジェクトで、2021年度まで予定されており、2018年度は2年目です。

①1998～2000年度基盤研究(A)(2)「東山御文庫を中心とした禁裏本および禁裏文庫の総合的研究」

(直接経費総額：28,400,000円)

②2002～05年度基盤研究(A)「禁裏・宮家・公家文庫収蔵 古典籍のデジタル化による目録学的研究」

(直接経費総額：37,440,000円)

③2007～11年度学術創成研究費「目録学の構築と古典学の再生—天皇家・公家文庫の実態復原と伝統的知識体系の解明—」(総配分額：529,880,000円[間接経費も含む])

④2012～16年度基盤研究(S)「日本目録学の基盤確立と古典学研究支援ツールの拡充—天皇家・公家文庫を中心に—」(総配分額：191,490,000円[間接経費も含む])

これらの概要に関しては、東京大学史料編纂所のHP上の「<https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/kodai/kinri-kuge-index.html>」及び、独立行政法人日本学術振興会HP「科学研究費助成事業データベース」の田島公が研究代表者を行った研究課題(<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000080292796/>)及び「科研費NEWS」2016VOL.4(2017年3月)「最近の研究成果トピック」人文・社会系「禁裏文庫の調査・公開・研究の画期的な進展と、公卿学の系譜の再検討」(田島 公)「[http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/22\\_letter/data/news\\_2016\\_vol4/p04.pdf](http://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/22_letter/data/news_2016_vol4/p04.pdf)」を参照のこと。研究成果に関しては、田島公編『禁裏・公家文庫研究』1～6輯(思文閣 2003・06・09・12・15・17年)なども参照されたい。